

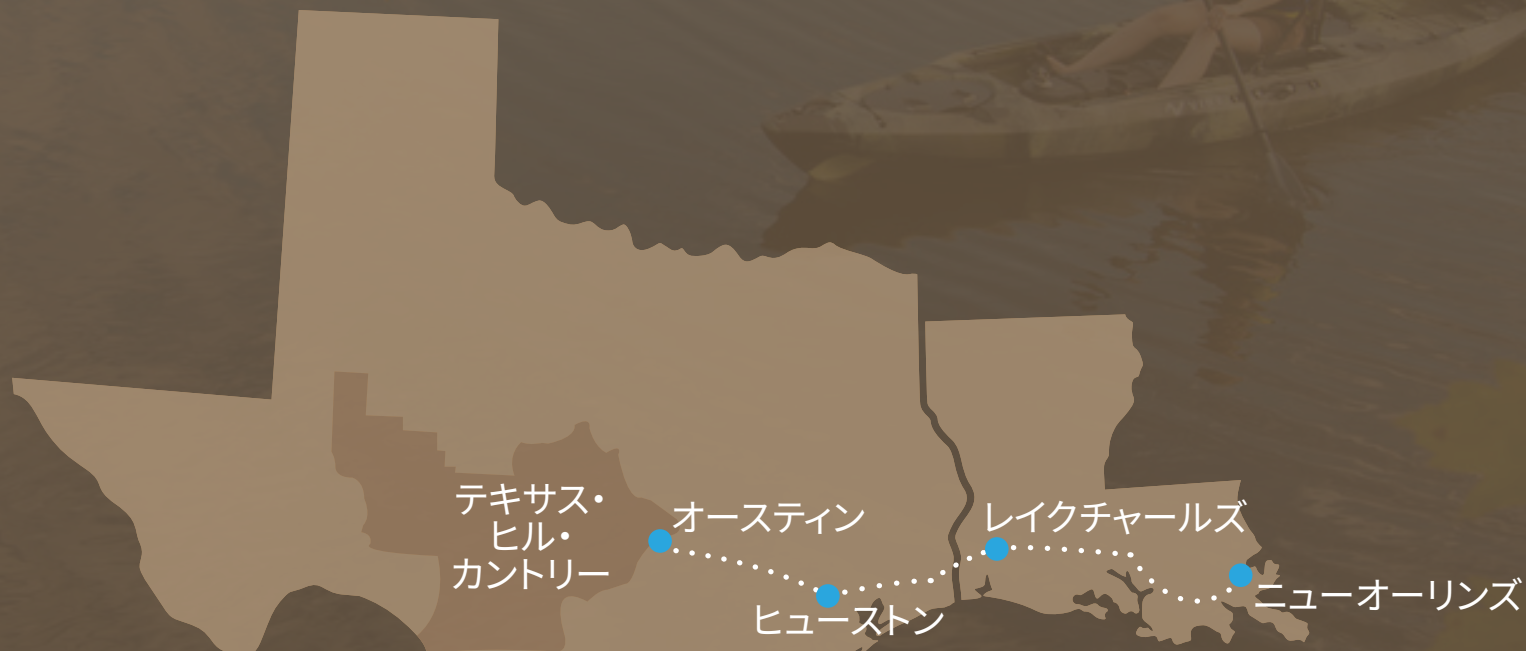


INSIDER
GUIDES
from VisitTheUSA

とっておきのドライブルート - 田舎道、ビーチ、バイユー

テキサス州 - ルイジアナ州

とっておきのドライブルート - 田舎道、ビーチ、バイユー



テキサス州オースティンからテキサス州ヒューストンへ

3 時間 / 265 キロメートル

テキサス州ヒューストンからルイジアナ州レイクチャールズへ

2 時間 30 分 / 232 キロメートル

ルイジアナ州レイクチャールズからルイジアナ州ニューオーリンズへ

3 時間 / 330 キロメートル



テキサス州オースティン

1日目と2日目

テキサス州オースティンのオースティン・バーグストロム国際空港 (Austin-Bergstrom International Airport) に到着すると、ターミナルでは地元のミュージシャンによる生演奏が聞こえてくるはずです。空港でレンタカーを借りたら、まずは宿泊先に向かい、この先に待ち受けるロードトリップに備えて十分に休息をとりましょう。翌朝目覚めたら、のんびりとした朝を過ごし、オースティンのダウンタウンに近いジルカー・メトロポリタン・パーク (Zilker Metropolitan Park) に出かけてみましょう。この公園には天然のプール、パートンスプリングス (Barton Springs) があり、思い出に残る体験ができます。湧き水を源泉とするこの泉の水温は 1 年を通じて 20~21 度に保たれているため、家族連れにもうってつけです。ランチはオースティンに数あるフードトラックで調達するとしましょう。食べたいものがお手頃な価格で見つかります。ランチの後の街歩きは、テキサス州会議事堂 (Texas State Capitol) からスタート。「I love you so much」と書かれたジョーズコーヒー (Jo's Coffee) の壁や、

サウス・ファースト・ストリート (South First Street) にある「Greetings from Austin」と描かれた壁画アートの前は絶好の記念撮影スポットです。サウス・ कांग्रेस・アベニュー (South Congress Avenue) に向かい、カウボーイブーツの店で品定めしたら、次は कांग्रेसアベニュー橋 (Congress Avenue Bridge) を訪れます。日が暮れかき美しい紫色の光が街を照らす頃になると、150 万匹ものコウモリの群れが空を飛ぶ姿を目にすることができます。夕食はレイニーストリート歴史地区 (Rainey Street Historic District) でどうぞ。この地区には一戸建ての住宅を再利用したレストランが集まっています。食事の後は数ブロック東に移動して、ザ・ホワイト・ホース (The White Horse) で朝までダンスしましょう。

宿泊地: テキサス州オースティン

はインスタ映えるヒューストンのストリートアートの写真を撮りに行きましょう。撮影の足となるのは、ジョイライドヒューストン(Joyride Houston)が運行する電動カート。カートに乗って市内の壁画アートを巡り、その作者や作品についての解説を聞きながら写真撮影ができます。後部座席でリラックスしている間に、ダウンタウン、ミッドタウン、イーストダウンタウン(通称「EaDo」)を回り、見事な壁画アートが施された建物を案内してくれます。ヒューストンの文化からインスピレーションを得た「Houston is Inspired」の壁画アートもちろん見学します。ランチはナビゲーション大通り(Navigation Boulevard)にあるジ・オリジナル・ニンファズ(The Original Ninfa's)へ。ファヒータ、エンチラーダ、マルガリータをはじめとするテキスメクス料理やお酒を楽しまなければ、ヒューストンを訪れたことにはなりません。ランチの後は、バッファローバイユー公園貯水槽(Buffalo Bayou Park Cistern)に向かいましょう。かつて地下貯水池だったこのスポットでは色や反射を利用した美術展が次々と開催され、活気が生まれてい

ます。展示を鑑賞した後は、サイクリングの準備をします。貯水タンクの入り口でツール・ド・ブルワリー・ヒューストン(Tour De Brewery Houston)のガイドと落ち合ったら、自転車を受け取り、ヘルメットをかぶります。ツアーでは、歴史あるダウンタウンや 11 キロメートルにおよぶ公園のトレイルのほか、ヒューストン屈指の美しい緑地であるバッファローバイユー(Buffalo Bayou)を訪れます。サイクリングの後は、ダウンタウンに新しくできたフードホール、ブレイバリー・シェフ・ホール(Bravery Chef Hall)に繰り出して、寿司、バーベキュー、ダイナーのメニュー、ベトナム料理、パスタなどさまざまな料理をお楽しみください。ヒューゴズ(Hugo's)、ボンディチェリ(Pondicheri)、ナンシーズハッスル(Nancy's Hustle)といったレストランもディナーにおすすめです。

宿泊地: テキサス州ヒューストン

テキサス州ヒューストン



ルイジアナ州レイクチャールズ

8 日目

はレイクチャールズの文化、食、歴史を楽しみましょう。1 日の始まりには朝食が欠かせません。シナモンロール、キッシュ、焼きたてのパンを毎日食べられるザベケリー (The Bekery) は最高の選択です。マルディグラ・インペリアル・カルカシュー博物館 (Mardi Gras Museum of Imperial Calcasieu) では、この地方の豊かな歴史におけるマルディグラの重要性を理解できるでしょう。華麗な衣装を見学したり、マルディグラのフロート車に乗ったりすることもできます。レイクチャールズには、おいしい食べ物を味わうだけでなくとどまらず、その作り方を習える店もあります。例えば、ランチにオークパーク (Oak Park) 沿いのザ・ベルベット・ピッグ (The Velvet Pig) に行ってみませんか。この店では、自分のランチを準備しながら調理法を習うことができます。ドイツ、ケイジャン、ネイティブアメリカン、フランスの料理の要素が混じり合ったこの土地の食文化について知るのには、他ではできない体験です。ランチの後は、チャーペンティア歴史地区 (Charpentier Historic District) でレイクチャールズの歴史をひもといてみましょう。ウォーキングツアーの頼れるガイドとなるアプリをダウンロードしておけば、ルイジアナ州南西部でも屈指の優雅な邸宅や建築物をアプリが案内してくれます。ユニークな体験をお望みなら、ラバが引く馬車に乗ってみましょう。観光とショッピングの後は夕食の時間です。レストランはたくさんありますが、ダウントウンで地元グルメを味わうならルナ・バー・アンド・グリル (Luna Bar and Grill) が最高の選択です。

宿泊地:ルイジアナ州レイクチャールズ

9 日目

レイクチャールズ周辺の自然環境には、400 種以上の鳥類、アリゲーター、ボブキャット、ワシやタカに代表される猛禽類などの野生生物が棲息しています。ガイド付きツアーでは、野生生物を間近で見たり、この多様性に富んだ地域の湿地帯や海岸線を散策したりできます。エコツアー、釣り船のチャーター、ネイチャーフォトなど充実したオプションがそろっており、だれもが楽しめること請け合いです。せっかくですから終日コースに参加してみましょう。野生生物の見学に加えて、ケイジャンの文化や風習について知る機会があるだけでなく、場合によっては釣りやカニ漁に出かけることもあります。とにかくカメラだけはお忘れなく。プロの写真家でも熱心なアマチュアカメラマンでも、あっと驚くような写真が撮れるでしょう。一日の最後を飾る高級レストランのカラ (Calla) では、ローカルティストを加えた特製料理を堪能しましょう。

宿泊地:ルイジアナ州レイクチャールズ





ルイジアナ州ニューオーリンズ

ルイジアナ州ニューオーリンズ

11 日目

ロイヤル・オイスター・ハウス (Royal Oyster House) で朝食と絶品のブラッディマリーを楽しんだら、ニューオーリンズの観光に出かけましょう。何百年も前のコテージから意匠を凝らした歴史ある墓地まで、この町のあらゆるものから歴史と伝統の物語が伝わってきます。歴史あるフレンチクォーター (French Quarter) を気ままに散策し、ジャクソンスクエア (Jackson Square) 周辺のストリートミュージシャンが奏でる音楽に耳を傾け、地元のアーティストによる素晴らしい芸術作品を鑑賞しましょう。ロイヤルストリート (Royal Street) では、美しい細工が施されたバルコニーを写真に収めたいもの。もちろん、さまざまなテイストのブティックでのショッピングも楽しみの 1 つです。ニューオーリンズの文化は、食抜きでは語れません。町のレストランでは、その店の料理に匹敵する素晴らしい体験ができます。ランチにはミュリエルズ・ジャクソン・スクエア (Muriel's Jackson Square) に立ち寄り、眺めのよいバルコニーで煮込み料理エトウフェをお楽しみください。この日の午後はガイド付きツアーに参加し、ガーデンディストリクト (Garden District) のオーク並木や、ゴシック、ジヨ

ージアン、ギリシャリバイバルなど複数の建築様式が融合した邸宅を見学しましょう。路面電車のセント・チャールズ・ストリートカー (St. Charles Streetcar) に乗り、豪邸や、さまざまな映画の舞台となった場所を通り過ぎます。次に訪れるのはセントルイス墓地 (St. Louis Cemetery) です。地元の言い伝えでは、ブードゥー教の伝説的な女王マリー・ラボーがここに眠っているとされています。墓地には地面の上に造られたお墓が複雑に配置されており、「インタビュー・ウィズ・ヴァンパイア (Interview with the Vampire)」などの映画の撮影に使用されました。ロイヤルストリートやパーボンストリート (Bourbon street) で過ごす夜は、ニューオーリンズの旅の最大の楽しみといっても過言ではありません。ニューオーリンズの名店アルノーズ (Arnaud's) でディナーを早めに済ませたら、情緒あふれる町のライブミュージックを楽しみながらパーティーのような雰囲気をおおいに満喫しましょう。

宿泊地：ルイジアナ州ニューオーリンズ

**INSIDER
GUIDES**
from VisitTheUSA

多様な生態系が存在するニューオーリンズでは、沼地を巡るツアーに参加して沼地を間近で観察してみたいもの。ご希望の冒険度合いに応じて、ボートに乗るもの、エアボートツアーに参加できるもの、カヤックやカヌーを自分で漕ぐものなど、さまざまなツアーから選べます。アリゲーター、野生のイノシシ、フクロウ、ヘビ、サギなどの生物を間近で見られるチャンスがあるかもしれません。この日の午後はニューオーリンズに戻り、フレンチクォーターをもう少し散策してから、ライブハウスが集まるフレンチメンストリート (Frenchmen Street) に行ってみましょう。スポッテッド・キャット・ミュージック・クラブ (Spotted Cat Music Club) のような居心地のよいライブハウスでは毎晩3組のバンドが登場し、さまざまなスタイルのジャズのステージを披露してくれます。ディナーなら、

マリニーブラスリー (Marigny Brasserie) でご当地グルメを味わいながら、素晴らしい生演奏に耳を傾けましょう。カフェ・デュ・モンド (Café du Monde) のカフェオレとペニエをまだ味わってなくても、焦ることはありません。この店は、ニューオーリンズまでの充実した旅の最後を飾るのにふさわしい 24 時間営業のカフェなのです。とはいえ、夜更かしは禁物です。よく眠り、次の朝爽やかな気分で目を覚まし、ルイ・アームストロング・ニューオーリンズ国際空港 (Louis Armstrong New Orleans International Airport) から出発するフライトで帰路につきましょう。

宿泊地: ルイジアナ州ニューオーリンズ



ルイジアナ州の湿地帯ツアー